



【 「校長先生、楽しみにして見えています。」 】

○ 私は、昨年度の5月から、子供が道徳性が少しでも高まることを願って、「**道徳コーナー**」を設けています。週2回、教育活動や出来事を通して、子供が生き方（見方・考え方・感じ方・行い方）について見直すことができるようなプリント（A3用紙）を、児童玄関前に掲示しています。



○ 何人が見ているか分かりません。私は、例え見ていない子供が多いとしても、一人でも見ている子供がいたらそれでよいという思いで書いてきました。そんなとき、先日、ある二人の女子が私に次のような話をしてくれました。

「校長先生、私たち、「道徳コーナー」、楽しみにして見えています。全校のことがよくわかります。」

○ 私は、その言葉を聞いて嬉しくなりました。こんな私のちっぽけな行為に対して、子供からこう言われ、自分の行為の価値が1%でもあることに喜びを感じたのです。私は、「ありがとう。これからも週2回だけど、書くね。」と言いました。

○ 今年度、「**井波学③ 道徳学習**」を学校として力を入れていくことにしました。「**体験活動と道徳科の授業との関連**」「**人の行為を突き動かす原動力について考える道徳科の授業**」の実践に力を入れていきたいと考えています。これらのことは、担任にしかできません。一方、校長としてできることの一つは、「道徳コーナー」だと捉え、実行しています。

○ 「子供の道徳性の高まり」を願って、ちっぽけな行為かもしれませんが、最後まで取り組んでいきたいと思えます。

